

■植物園案内■	■特別展関連イベント■
<p>●植物園案内</p> <p>植物研究室の学芸員が長居植物園を案内し、その季節の植物の説明と観察を手引きします。</p> <p>日 時:毎月第4土曜日 午後2時30分～4時</p> <p>集 合:自然史博物館 玄関前ポーチ</p> <p>参 加 費:無料(植物園入園料必要)</p> <p>お問合せ:植物研究室</p> <p>お申込み:不要</p>	<p>●特別展記念講演会「鉱物の特徴と環境」</p> <p>ダイヤモンドや金・銀といった装飾品に使用される鉱物は、その美しさによって人の心を魅了してきました。装飾品に使われる鉱物ほどの華やかさはありませんが、身近な鉱物には水晶、方解石、電気石などがあります。形態や色といった鉱物の特徴を説明し、鉱物の生成環境や利用について、故北川隆司教授の指導を受けて研究を進めた地下まゆみさんから紹介いただきます。</p> <p>日 時:4月23日(日)午後1時～2時30分</p> <p>場 所:自然史博物館 講堂</p> <p>講 師:地下 まゆみ(大阪大谷大学教育学部 准教授)</p> <p>参 加 費:無料(博物館入館料必要)</p> <p>お問合せ:地史研究室の川端</p> <p>お申込み:不要</p>
<p>●植物園案内・動物編(4月)「はじめてのバードウォッチング～春の渡り鳥を見つけよう!～」</p> <p>大阪の都市公園は渡り途中の鳥たちの中継地です。オオルリやキビタキなど日頃見られない鳥に出会うチャンスです。双眼鏡の使い方から、図鑑の選び方まで、はじめてのバードウォッチングをサポートします。</p> <p>日 時:4月22日(土)午前10時～12時 ※雨天中止</p> <p>集 合:自然史博物館 玄関前ポーチ</p> <p>参 加 費:無料(植物園入園料必要)</p> <p>お問合せ:動物研究室の和田</p> <p>お申込み:不要</p>	<p>●ギャラリートーク</p> <p>学芸員によるテーマを絞った展示解説を行います。</p> <p>○日にちとテーマ</p> <p>4月29日(土) 北川隆司鉱物コレクション・金澤芳廣化石コレクション</p> <p>5月13日(土) 47都道府県の石</p> <p>5月27日(土) 金澤芳廣化石コレクション(植物化石)</p> <p>※会場混雑時には、やむなく中止となる場合がありますのでご了承ください。</p> <p>時 間:午前11時30分～12時</p> <p>場 所:特別展会場(自然史博物館 ネイチャーホール)</p> <p>参加希望者は開始5分前までに特別展会場入口付近に集合してください。</p> <p>参 加 費:無料(特別展観覧料必要)</p> <p>お問合せ:地史研究室の川端</p> <p>お申込み:不要</p>
<p>●植物園案内・動物編(5月)「春の渡りの小鳥をさがそう」</p> <p>春の渡りの季節、大阪の公園には綺麗な鳥がいっぱいやってきます。美しいキビタキやオオルリの姿をさがしてみましょう。</p> <p>日 時:5月6日(土)午前10時～12時 ※雨天中止</p> <p>集 合:自然史博物館 玄関前ポーチ</p> <p>参 加 費:無料(植物園入園料必要)</p> <p>お問合せ:動物研究室の和田</p> <p>お申込み:不要</p>	
<p>●植物園案内・昆虫編(6月)「初夏の昆虫」</p> <p>気温も高くなり、大型の昆虫も活動する季節になりました。植物園内で花を訪れるチョウやハチ、池でくらすのトンボなどを観察します。</p> <p>日 時:6月3日(土)午前10時～12時 ※雨天中止</p> <p>集 合:自然史博物館 玄関前ポーチ</p> <p>参 加 費:無料(植物園入園料必要)</p> <p>お問合せ:昆虫研究室の松本</p> <p>お申込み:不要</p>	

▽▲ 編集後記 ▲▽

改修工事も終わり、3月からは通常通り開館しています。閉館中に自然史博物館のご利用を考えておられた方にはご不便をおかけしました。常設展示室からは、すでに遠足で訪れる子ども達の元気な声が聞こえてきます。暖かくなれば、休日のお出かけで来館するお客様も増えて、もっと賑やかになるでしょう。春の行楽に、長居公園や植物園とともに博物館にも是非遊びに来てください。(大江)



Teachers - Museum

通信2016 No.3

2017/3/14

編集・発行:大阪市立自然史博物館

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23 tel 06-6697-6221 (博物館代表番号)
http://www.mus-nh.city.osaka.jp/ (学校向けページやキッズページも充実してます)
e-mail:tm@mus-nh.city.osaka.jp

※送付先の変更や、メールアドレスの変更などあれば、ご連絡ください。経費削減のため、なるべく通常の通信はEメールで連絡させていただきたいと思います。登録時に郵送を希望された方でメールアドレスを取得した場合は上記までご連絡ください。

■特別展「石は地球のワンダー ～鉱物と化石に魅せられた2人のコレクション～」を開催します■ ●同時開催「47都道府県の石」●

4月22日(土)から6月4日(日)まで、特別展「石は地球のワンダー ～鉱物と化石に魅せられた2人のコレクション～」を開催いたします。この特別展では、広島大学で鉱物の研究をしていた故北川隆司教授が集めた鉱物のコレクションと、香川県丸亀市在住の金澤芳廣氏が自ら発掘し収集した化石のコレクションを展示します。

鉱物を研究し、鉱物に魅せられた北川教授は、生涯にわたり、世界中から2000点を超える鉱物を収集しました。今回は、ご遺族の協力を得て、北川氏のコレクションから約160点の標本を展示します。さまざまな色や形をした鉱物から、自然の造形の美しさや不思議を感じて頂ければと思います。

金澤氏は数十年間、自分で化石を掘りつけてきました。これまでに発見した化石は、大型のアンモナイトや脊椎動物、植物など600点以上に及びます。これらのコレクションの中から、当館の学芸員を中心とした研究により明らかになった香川県初の恐竜化石を含む約100点を展示します。

あわせて、昨年、日本地質学会により選定された「47都道府県の石(岩石・鉱物・化石)」も展示します。日本の各都道府県の岩石・鉱物・化石は、何なのでしょう。新潟県の鉱物が金であったり、福岡県の岩石が石炭であったり、その土地の地理や歴史に密着したものも見られます。



▲北川隆司コレクションより:魚岩石



▲金澤芳廣コレクションより:アンモナイト

■開催概要■

会 期:平成29年4月22日(土)～6月4日(日)

休 館 日:月曜日 ※5月1日(月)は開館

開館時間:9:30～17:00(入館は16:30まで)

会 場:大阪市立自然史博物館 ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2階)

観 覧 料:大人 300円、高校生・大学生 200円 期間内特別展フリーパス 大人 500円、高校生・大学生 400円

※本館(常設展)とのセット券は、大人 500円、高校生・大学生 300円 ※30人以上の団体割引あり

※中学生以下、障がい者手帳など持参者(介護者1名を含む)、大阪市内在住の65歳以上の方は無料(要証明)

※本館(常設展)、長居植物園への入場は別途料金が必要です(セット券を除く)

主 催:大阪市立自然史博物館、大阪市立科学館

後 援:国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター、日本鉱物科学会、日本粘土学会、日本結晶学会、日本地質学会、日本古生物学会、全国科学博物館協議会、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会

共 催:国立科学博物館、千葉県立中央博物館

■夏に開催している教員のための博物館の日の効果は？■

大阪市立自然史博物館では、教員向けの行事「教員のための博物館の日」をこれまで5回開催しましたが、今年度初めて、事後のアンケートを実施しました。「教員のための博物館の日」の経験が、学校に対して、また先生自身にとって、どのような効果があるのかを知るためです。2016年8月3日(水)開催の「教員のための博物館の日」参加者のうち、事後アンケートに対して、協力を得られた先生63名に、12月にアンケートを送付しました。結果、34名からの回答が得られました。

「教員のための博物館の日に参加した経験が、学校で役に立ったと感じたことはありますか?」という質問に対して、31名(約9割)の方が「ある」と答え、その内容としては、下記のような回答がありました。

教員のための博物館の日がどんな風に役に立ったか（複数回答可）	人数
参加していない教員に、教員のための博物館の日で知ったことや体験を伝えることができた。	11
遠足や校外学習で博物館を訪れたとき、学芸員の解説で聞いたことを子どもたちに話すことができた。	10
当日学芸員に聞いた話や、当日撮った写真などを学校の授業で活用した。	10
それまで知らなかった大阪市立自然史博物館の貸出資料やサービス（学芸員による授業、学校向けホームページなど）を利用することができた。	9
博物館で行った実習を授業でもやってみた。	9
持続可能な開発のための教育（ESD）についての講演で理解が深まり。学校の授業計画等に活用した。	1
そのほか	6
合計	56

また、「教員のための博物館の日に参加してから、個人的に博物館を利用したことはあるか?」という問いに対しては、「ある」10名(29.4%)、「ない」23名(67.6%)という回答がありました。利用方法の詳細は、「行事に参加した」が3名、「ボーリング標本の貸出」が1名、「学芸員に質問した」が1名など、教員の日で紹介した内容や経験が少しずつ、その後に活かされていることが分かりました。

毎年行ってきた行事だけに、学校現場での活用の様子や効果を知ることができ、次年度への励みにもなりました。(釋智恵子)
※本研究は、日本科学協会の笹川科学研究助成による助成を受けたものです。

■常設展 第3展示室の一部をリニューアルしました■

2月6日～28日は、本館改修工事のため、常設展示はお休みさせて頂きました。この休館中に、第3展示室「すみ場所をひろげる」の「旅をする蝶」のコーナーをリニューアルしました。季節風や台風で飛ばされたり、季節によって気候の良い場所へ移動したり、ハネを持つ昆虫には、長距離を移動するものもいます。特に、アサギマダラは夏は涼しい場所へ北上、秋には暖かい場所へ南下する旅をする蝶として知られています。しかも、その移動距離は日本本土から海を飛び越え、南西諸島や台湾にまで及びます。中には、2,500kmも移動して、香港までたどり着いたという記録も残っています。このアサギマダラのわたりは、長年のマーケティング調査で少しずつ明らかになってきました。今回のリニューアルでは、最新のデータをもとに、アサギマダラがどのように旅をするのか、紹介しています。

優雅に飛んでいるように見える蝶が、何千kmも移動するなんて驚きです。アサギマダラ以外にも、長距離を移動する蝶がいるそうです。寒くなると姿を見せなくなる蝶も、どこか南の暖かい場所で過ごしているのかもしれないね。

3月18日(土)にはリニューアルを担当した金沢学芸員のオープンセミナーも行います。詳細は、右ページの行事案内をご覧ください。是非、当日は展示と合わせてお楽しみ下さい。



▲アサギマダラ(展示室の写真)

■ 行事案内 ■

自然史博物館では様々な行事を開催しています。申込みが不要な行事と必要な行事がありますので、行事情報をチェックしてご参加ください。博物館ホームページ「イベント」メニューからも申込みが簡単にできます。

◎ 申し込み方法

往復はがきか電子メールに、下記の内容を書いて博物館普及係あてに申し込んでください(㍻切日必着)。

博物館のホームページからも、お申し込みいただけます。

1. 参加希望の行事名
2. 参加者全員の住所・名前・年齢・電話番号
3. 返信連絡先(往復はがきには返信用のあて名)

※定員を超えた場合は抽選することがあります。

抽選結果、集合場所、集合時間、持ち物など、詳しい内容は返信ハガキか電子メールでお知らせします。

◎ 申し込み先

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23 大阪市立自然史博物館 普及係

ホームページ: <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>

e-mail: gyouji@mus-nh.city.osaka.jp

■オープンセミナー■

学芸員や研究者が自然史科学を話題に講演します。

●アサギマダラ・セアカゴケグモの最新情報など

30年以上にわたる昆虫担当学芸員の経験をふりかえりながら、思い出深い昆虫・クモの最新情報をお話します。特に、旅をする蝶・アサギマダラに関する台湾・中国大陸南部における調査結果と種分化仮説、そして毒グモ・セアカゴケグモなどのゴケグモ類の分布拡大・毒性・咬症例については、詳しく解説するつもりです。中でも2017年1月上旬に行った台湾南部におけるアサギマダラの越冬地探索の結果が必見です。

日時:3月18日(土) 午後1時～2時30分
会場:自然史博物館 集会室
講師:金沢 至(昆虫研究室)
参加費:無料(博物館入館料必要)
お問合せ:昆虫研究室の金沢
お申込み:不要

●プロジェクトA中間報告

2015年から外来種の調査プロジェクトが始まり、植物、動物、昆虫などを対象にどのような外来種が、どこに拡がっているのか、調査をすすめています。今回は中間報告会としてこれまでに分かってきたことを紹介し、今後どのような調査を行うかについても考えてみたいと思います。

日時:4月8日(土) 午後1時～3時
会場:自然史博物館 集会室
参加費:無料(博物館入館料必要)
お問合せ:昆虫研究室の松本
お申込み:不要

●瀬戸内海の自然:地形・地質と昆虫

この夏に開催される特別展「瀬戸内海の自然(仮題)」に先だって、瀬戸内海の地形や地質、海域の環境や、瀬戸内海の砂浜にすむ昆虫を中心にお話をします。

日時:6月10日(土) 午後1時～2時30分
会場:自然史博物館 集会室
講師:中条武司(第四紀研究室)
松本吏樹郎(昆虫研究室)
参加費:無料(博物館入館料必要)
お問合せ:第四紀研究室 中条、昆虫研究室 松本
お申込み:不要

■室内実習■

博物館に備え付けの研究機器を活用して、分析的な観察・実習をおこないます。

●鳥の調査の勉強会

鳥を調べてみたい調査初心者から、手持ちデータを論文にまとめたいベテランまで。鳥の調査研究を、野外観察と論文紹介、個別指導で学ぶ実習です。

日時:4月1日(土) 終日
場所:自然史博物館 集会室
対象:鳥の調査をしたい方、してる方、興味ある方(小学生以下は保護者同伴)
定員:20名(定員を超えた場合は抽選)
参加費:無料
お問合せ:動物研究室の和田
お申込み:必要<締切3月25日(土)>